## 所の無

みんなの居場所の裏面は、小学生にと て必要ではないかと思う問題、漢字 慣用句等々を載せていきます。 ご家 族の団らんの話題にしてみてください。 会話が広がります。

令和4年10月11日(火)

壁ち」「兼显ち」「感 る、そのエネルギー 特に若い時はそう らば、「真撃ち」「謙 張っていれば、もっ 謝の心」を持ち、頑 の頃、もつ少し「真 スの連発だった。あ 師になって数年は言 を忘れていること。 焦らず、腐らず頑張 真なり。そうならな 虚さ」「感謝の心」を げていこうと願うな と思う。スキルを上 ていたのではないか とマシな教師になっ 等々。そして「感謝 成長を遂げる。逆も することで飛躍的な をポジティブに利用 ネルギーを持ってい た。若さは爆発的工 ると、ある言動があ 多くのミスを重ねて **心れてはならない。** しれらが災いし、教 卫王義」「自己中心」 った。「卑屈さ」「利 さた。改めて振り返 ないだろうか。 私も 応れていることでは 「感謝」の気持ちを

い時間が長く続く 景に共通するのは、 やすくなる。その背 日常生活で何もな

ちょっとしたきっかけから大切な存在になった物って みると、「柿のなっとったけん、じいちゃんにやったっ ありませんか? があります。皆さんにはこんなことはありませんか? ながら食べます。 秋の味覚、柿,には、 私はそんな思い 柿を見ると祖父を思いだし、食べる時はしっかり味わい の話を聞きながら、涙が止まりませんでした。それ以来 久様に神様が下さった勲章のように思えます。」私はそ までならなかった柿がその年にだけなるんですから。そ たい。」とのこと。不思議なこともあるものですね、今 柿がのせてありました。 不思議に思って、 叔父に聞いて た。祖父も病魔には勝てず、平成了年11月5日に永眠 柿の話題よりも、祖父が元気になることを願うだけでし 実がならなくなってしまいました。 祖父が最後の入院を ならなくなってしまったのです。平成3年頃からは全く が病気になって体調が優れなくなってから、柿があまり 縛られていたという話を聞いていました。しかし、祖父 ました。父が子供の頃はよく悪さをして、その木に縄で 父が子供の頃からあるということで、もう随分弱ってい **具面目に、誠実に生きられました。この柿を見ていると、** しました。そして、祖父の出棺の日、棺の上には一つの したのは、平成了年8月のことでしたが、その頃はもう して、葬儀の際、お坊さんがこんな話をされました。「久 (私の祖父の名前"ひさし!) 様は、頑固すぎるぐらい

ります。そして、祖父から尋ねられます。「愚痴は言っ りした時間が流れていきます。心が満たされた時間にな 秋でしょうか。充実させてくださいね。 て最後に一言「真摯に謙虚に感謝して頑張りなさい。」 いるか?」、「人様のために仕事をしているか?」、そし てないか?」、「卑屈になっていないか?」、「前に進んで たまに祖父の墓参りに行くのですが、そこではのんび 秋は私にとってそんな季節です。皆さんの秋はどんな

## 柿

私にとって柿だけは特別な存在です。というより、平成 は私の好物の一つです。果物は何でも好きです。でも、 - 年11月に特別な存在になりました。 この季節、あちらこちらで柿の木を見かけますが、柿

私の父の実家には一本の柿の木があり、その木は私の

部屋には3人しか残っていませんでした。しかも若い者ばかりです。一人は股関節骨折、 時頃おせち風の料理が届きます。取り敢えず正月気分が味わえる訳です。私は8人部屋で タヌキ)で年越しし、平成4年の元旦は病室で迎えました。元旦は朝食は無く、午前11 のか、私達の部屋によく来てくれて話をしてくれていました。 たが、何とも淋しい気分でしたね。でも、看護師さん達も気を遣ってなのか、元旦は暇な 記念写真をとり、暇な一日を過ごしました。取り敢えず午後の時間は家族が来てくれまし したが、殆どの患者さんは外泊許可がもらえて正月は我が家でという人が多く、私が居た 一人は膝のけがでしたね、足に重りをぶら下げていたのを覚えていますから。その3人で この後、正月を病院で迎え良い経験となりました。大晦日はインスタントのそば(緑の

プスを取る時は電動のこぎり?みたいなので切るんですよね。先生が「痛かったら言って 着するためにはギプスを取る必要があります。経験がある人は分かると思うのですが、 ね~」と冗談で言うものだから、痛くはないものの、緊張しました。 す。ギプス装着時に型は採ってあるので、それを基にしてコルセットが作られました。装 真が正常であることが確認できれば、次の段階に入ります。次は硬性コルセットを装着で さて、躯幹ギプスの期間はそんなに長くありません、普通に動けることやレントゲン写 () づく)

## シリーズ「自分を語る」#39

ました。(あつしが立った! あつしが立った!) 分の足に体重をかけてみました。この時ばかりはめまいではなく、感動で頭がふらふらし いよいよ4週間ぶりに自分の足で立ちます。緊張しましたねぇ、この時は。俺は本当に立 で立ちあがるシーンのようでした?(と私は思っています。)私はベッドから降りて、自 てるのか?と。まさに、「アルプスの少女ハイジ」で、クララがアルプスの山で自分の足 たのですから、急に立ち上がるとめまいがするのだそうです。ジワジワ頭を上げていき、 ギプスを胴体に巻いた後は、乾燥度合に伴い、徐々に頭を上げ始めます。今まで寝てい

を手に入れた私は、あっちこっち動き回り始めました。躯幹ギプスを巻いた私は、それま ういいですよ

〜、

2時間が

乾燥させる

ための

理想的

時間です。

だいたい

2時間立てる人は す。」私は真面目に、それから2時間ほど立っていました。すると、ある看護師さんが「も のままで乾燥?」 少々心配になって、 看護師さんに聞いてみました。 「消灯時間頃までで 切りこみを入れ、そこから小刀で直径15㎝ほどの穴を開けることに成功しました。この に立っていた訳です。まさに、教室で立たされる子供達の気持ちでした。てな訳でギプス たのか、私とよく話す看護師さんが冗談で「消灯時間まで」と言ったらしく、私は真面目 いないんだけどね。」、「え~っ、2時間立たなくてよかったの?」 私の反応が面白かっ て。」と言い残し、その場を去って行かれました。私は立ったままだったので、「えっ、こ 穴のお蔭で、深呼吸しても圧迫を感じなくなりました。先生は「しばらく乾燥させておい と、しみじみ思いました。 した。 これは、 胃への圧迫を軽減するために穴を開けるための円だったのです。 はさみで いおい、今度は何が始まる?」と思っていると、赤鉛筆でギプスの表面に円を書き始めま で行けなかった病院中の施設を見学して回りました。手術室も見せて頂き、「ここかぁ…。」 私が立てるのを確認した後、お医者さんは小刀を準備して私の所へやってきました。「お

)